

## 防災訓練

防災訓練が11月2日（木）定時制、13日（月）全日制で行われた。地震、火災、津波等、想定しなければならない災害は多々ある。想像力を働かせて対策を講じる必要がある。特に本校は0m地帯にあり、津波の避難については課題が多い。現在、あだね川公園（標高15m、距離800m）への避難計画をしているが、標高が高くないこと、非難にも5、6分を有することが課題である。現に、東日本大震災における最大波高は40mを越えており、また明和の大津波では80mとされている。津波の速度も沿岸部でも100km/hもある。勿論、波高は地形にも関係（入り江は高くなる）はしてくるが、場合によっては、避難途中にある高層アパートへ誘導することも必要かもしれない。日頃からの防災意識を醸成したい。



## 大阪 黒染め強要裁判

大阪府立の高校で黒染め強要による訴訟が起き、物議を醸し出している（別紙新聞記事参照）。

◆訴えている女子生徒と母親の主張は以下の通りである。

- ① 2年次に男性教諭から黒染めするように指導（4日に一回の指導が続いた）
- ② 生まれつき髪の色素が薄い（中学校でも黒染めさせられ、髪と頭皮にダメージ）
- ③ 精神的苦痛で過呼吸、不登校

◆学校主張は以下の通り

- ア 茶髪の生徒がいると学校の評判が下がる
- イ 金髪の外国人でも黒染めさせる

◆本校でも、茶髪指導をしているが、以下の点に配慮した指導を行っているが、今後も慎重な対応、全職員で統一した指導が必要と考える。

- a 進路指導の現状を考えたとき、茶髪の生徒が進学/就職試験で進学先・就職先から受け入れられている状況はなく、指導が必要なこと（社会が受入をする状況に変われば、学校もその変化に合わせて対応できる）
- b 茶髪等の服装容儀の乱れが風紀の乱れに繋がることを実感していること
- c 地毛証明をとり、黒髪を強要しているわけではないこと。
- d 染髪にした生徒で、黒髪に染める指導を行う際も、髪が傷んでいる場合は、黒髪が自然に生えてくるまで待つという粘り強い、柔軟な指導も行っていること。



大阪の件の②についても、本校のd等の対応があれば問題なかっただろうし、また遡って中学校側の指導にも問題があると考えられる。また、大阪の学校のイの主張には理解を得ることは困難であり、人権侵害の指摘も出てくるであろう。

## 高校中退率 ワースト

県と文科省が2016年度問題行動・不登校調査の結果を公表した。

残念なことに、本県の**高校不登校者は1510名**もあり、**1000人あたりも32.3人**で全国の倍である。**中退者も1098人**で**中退率2.1%**で**全国ワースト**である。

背景には、家庭の教育力、貧困の問題や基礎学力、キャリア育成の問題、学校の対応の問題等・・・が考えられる。特に学校教育において、現状を考えると、きめ細やかな対応が必要であり、行政の手厚い予算措置（人的支援）がますます重要であると考えられる。

本校においても、日頃から先生方に丁寧な指導をして頂いている。生徒指導や学習意

欲等の問題で難渋することもあるが、今後も、あずった生徒全員を卒業させるよう努力を続けたい。それが貧困のスパイラルからの脱却にもなる。